1年で学べる！全12回 「見立て」ができると支援が変わる

〈見立て８型〉によるカウンセリングと精神医学

HCM カウンセリングセミナー 2027 全コースご案内

講師　高橋和巳　（精神科医・風の木クリニック）
　　野口洋一　（公認心理師・あさくさばしファミリーカウンセリングルーム）

HCM 本コース
- 基本コース　全６回　奇数月日曜日　10:00 - 15:30
  ハイブリッド開催（会場＋オンライン）・アーカイブ配信あり
- 上級コース　全６回　偶数月日曜日　10:00 - 15:30
  ハイブリッド開催（会場＋オンライン）・アーカイブ配信あり

HCM 事例検討会
- グループスーパービジョン　全12回　毎月日曜日　16:00 - 18:00
  会場受講のみ（本コース会場受講者はセット開催、これだけの参加も可）

HCM テーマ別コース
- 子ども虐待を理解する３連続講座　全３回　日曜日　10:00 - 15:30
  ハイブリッド開催（会場＋オンライン）・アーカイブ配信あり
- 現場で重要な３つの精神疾患を知る講座　全３回　日曜日　10:00 - 15:30
  ハイブリッド開催（会場＋オンライン）・アーカイブ配信あり

HCM カウンセリングセミナーは、医師・看護師・公認心理師・三福祉士・養護教諭など、治療や相談支援の現場を持つ専門家の方々を対象にした講座で、開催して23年目を迎えます。このセミナーの基盤となっている理論は、**〈見立て８型〉メソッド**と**５ステージ傾聴技法〈葛藤崩壊療法〉**の２つです。

〈見立て８型〉メソッド

人は社会の中で人と一緒に生きていこうとし、人との関係が上手くいかなくなった時に「悩み」か「不適応」、そのどちらかを抱えます。見立てとは、治療者や支援者がこの二つの本質を見定めることであり、これらは類型化が可能です。当セミナーは、この見立てを８つに分類します。

先ず、**悩み**とは、人と上手くやれず、人から承認されない不安や孤立を抱き、自分に原因があると自分を責める心的葛藤です。これらは、成人期、思春期、学童期という心理発達段階、そして愛着形成（虐待被害の有無）という二つの軸によって、悩みの様式や症状は質的に全く異なるものとなります（悩み４型）。

また**不適応**とは、脳機能障害によって対人的理解力が低下し、トラブルが生じて周囲が困っている状態です。これら不適応は疾患によって内容が決まりますが、セミナーでは有病率が高く、誤解の多い「軽度」知的発達症を筆頭に、他の三つの代表的な脳機能障害を取り上げます（不適応４型）。

以上、**脳機能障害**、**愛着形成**、そして**心理発達段階**という三つの軸線による見立ての８分類法とそれを見極める方法が〈見立て８型〉メソッドです。支援が行き詰まる困難事例は、そのほとんどが見立ての誤りによるものです。

これらの見立ての枠組みを持てると、ケースの理解が飛躍的に進み、安心してクライアントに向かい合えます。実際に〈見立て８型〉で、臨床現場で会う事例の98％以上の見立てを作り、治療・支援方法を立てることができます。

５ステージ傾聴技法〈葛藤崩壊療法〉

傾聴を軸とするカウンセリング技法で、カウンセリングの開始から終結までを３つの段階、すなわち、**第Ⅰ期 - 不安・抑うつ期**、**第Ⅱ期 - 崩壊期**、**第Ⅲ期 - 再生期**に分けて考えます。これらは、悩みや不適応が生じて治療支援が始まると、それがどう解決し、どう再生していくか、その回復のステップでもあります。

第Ⅰ期 - 不安・抑うつ期では、傾聴に徹したカウンセリングを行います。いわゆる「支持的精神療法」と同じもので〈見立て８型〉の全てのクライアントに適用できます。

一方、第Ⅱ期 - 崩壊期、第Ⅲ期 - 再生期は悩みの本質である「葛藤」を扱いその解決（葛藤の崩壊）を目指します。〈見立て８型〉のうち、「悩み」を抱えたクライアントである４つの「見立て」に適用できます。

これら各段階の傾聴技法が「5 ステージ傾聴技法」であり、実践の方法とそれによる葛藤解決の機序が解説されます。

全コース日程と講義内容

HCM カウンセリングセミナーには、次の３コースがあります。

1. 本コース（基本 / 上級コース）：講義と事例演習
2. 事例検討会：グループスーパービジョン
3. テーマ別コース：講義と事例演習（基本 / 上級コースと合同回あり）

本コース

基本コース（講義と事例演習）

全 6 回 奇数月の日曜日
10:00-15:30
ハイブリッド開催　アーカイブ配信

〈見立て 8 型〉の基本と傾聴技法を学び、ついで現場で最も重要な 4 つの見立て、2- 成人期、3- 思春期、4-「軽度」知的発達症、5- 被虐待者「異邦人」を詳しく解説します。

上級コース（講義と事例演習）

全 6 回 偶数月の日曜日
10:00-15:30
ハイブリッド開催　アーカイブ配信

愛着形成を軸に〈見立て 8 型〉をまとめ、カウンセリング技法〈葛藤崩壊療法〉の全体を学びます。ついで、2-「成人学童期」、3- 統合失調症、4- 自閉症、5- 認知症 / 高次脳機能障害の 4 つの見立てを学びます。

事例検討会

グループスーパービジョン

全 12 回 毎月の日曜日
16:00-18:00
会場のみの開催

守秘義務厳守のため会場開催のみ。会場の本コースに引き続いて実施されます。講師によるグループスーパービジョンです。会場から提出された生の事例をその場で見立て、進行具合を評価して今後の方針を立てます。

テーマ別コース

子ども虐待を理解する３連続講座（講義と事例演習）

全 3 回 日曜日
10:00-15:30
ハイブリッド開催　アーカイブ配信

第 1 回目は「なぜ虐待が起きるのか？」を詳しく検討します。第 2 回、第 3 回は基本コースの 4 回、5 回と合同です。虐待の世代間連鎖説の検討を行います。

現場で重要な３つの精神疾患を知る講座（講義と事例演習）

全 3 回 日曜日
10:00-15:30
ハイブリッド開催　アーカイブ配信

デイケア、福祉 / 就労支援、介護などの現場で重要な３つの精神疾患：神経発達症・統合失調症・認知症をもう一度、勉強し直しましょう。きっと支援方法が変わります。

各コースの受講料と受講を選択するヒント

会場（御茶ノ水ソラシティ）受講と、オンライン (Zoom) 受講の２通りの方法があります。

会場での受講は、事例検討会とセットですが、オンラインを予約した場合でも、会場受講に変更することができます。（1 ヶ月前から受付 / 変更料 6,000 円 (税込))。但し会場が定員に達した場合は、変更の募集を行わない旨、ご注意下さい。

通年申込はテキスト代込 3,600〜7,400 円お得

◆通年で「本コース」を受講する場合（HCM に初めて参加する方におすすめ）

基本＋上級コース＋事例検討会 (会場 / 毎月全 12 回)	138,600 円（税込 / テキスト代込）
基本＋上級コース (オンライン / 毎月全 12 回)	69,300 円（税込 / テキスト代込）
基本＋事例検討会 (会場 / 隔月全 6 回)	69,300 円（税込 / テキスト代込）
基本コース (オンライン / 隔月全 6 回)	34,650 円（税込 / テキスト代込）
上級＋事例検討会 (会場 / 隔月全 6 回)	69,300 円（税込 / テキスト代込）
上級コース (オンライン / 隔月全 6 回)	34,650 円（税込 / テキスト代込）

会場 / 通年 (12 回) が、一番お得！

受講者の経験に応じてどのコースからでもご参加できます。ただし、講義は基本→上級の順で学んで行くように構成されていますので、上級は基本を学んでいることを前提に進みます。この点、ご注意ください。

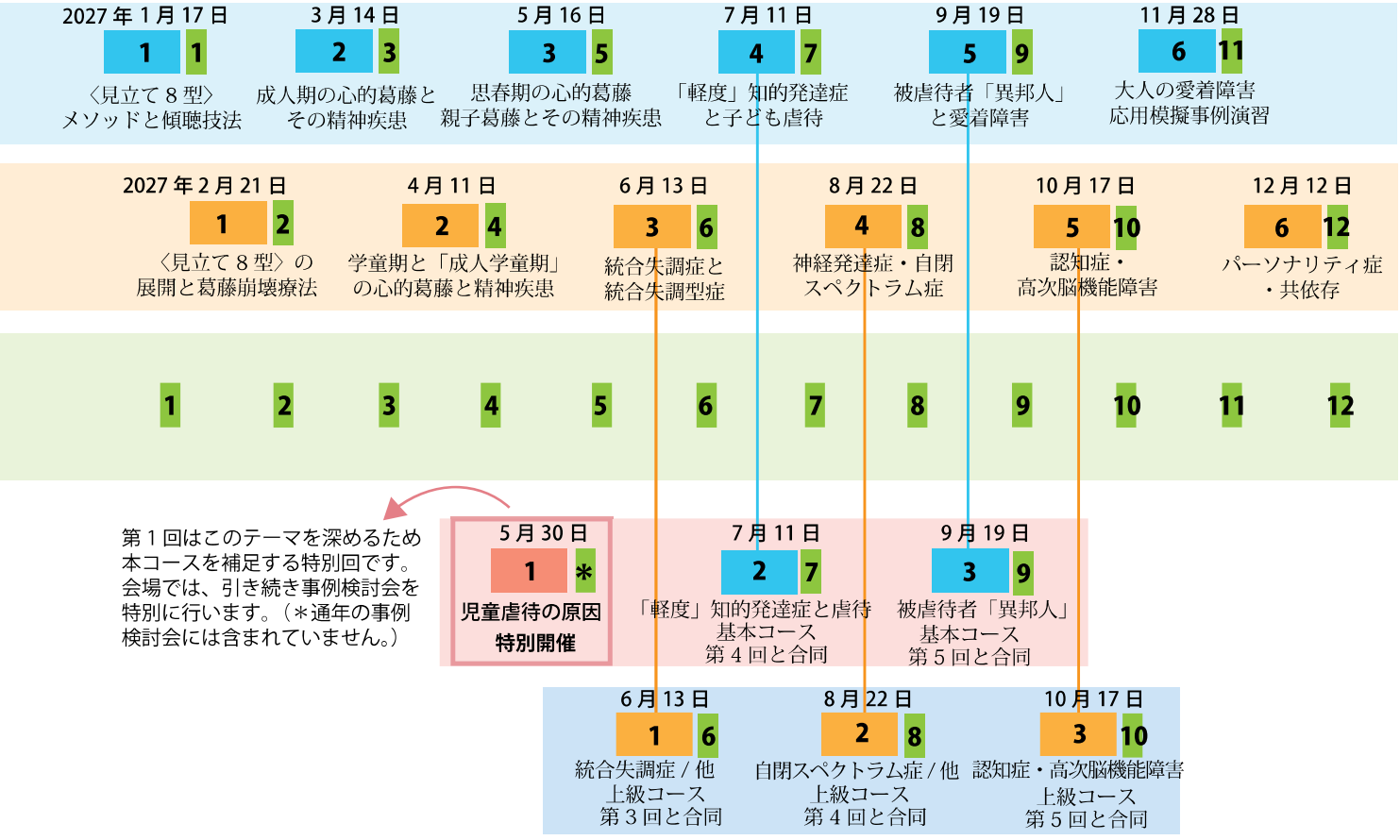
◆スポット受講（興味ある講義をもう一度聴きたい、時間の都合でその都度受講を決めたい方などに）

各コースのどこかの回（講義）だけを受講したい場合にご利用ください。全てのコース、全ての回で利用できます。
スポット受講は開催日の 1 ヶ月前からホームページ上で募集を開始します。
会場スポットは定員に達している回は募集されない場合もあります。オンラインスポットの定員はありません。

スポット 会場講義＋事例検討会のスポット受講（1 回）	13,000 円（税込）
スポット オンライン講義のスポット受講（1 回）	7,000 円（税込）

■■ 本コース・テーマ別コースは、ハイブリッド方式（会場・オンライン）で行います

会場受講の場合は → ❶ 本コースと❷ 事例検討会とがセットです。
オンライン受講の場合は → ❶ 本コースのみで、❷ 事例検討会はありません。
❷ 事例検討会は会場受講のみ → 本コースとは別に、単独で参加可能です。



◆事例検討会だけに参加（HCMの一通りの受講を終えて現場の実践を続けられている方などにおすすめ）

- 事例検討会（会場／全12回／年間を通じてお席が確保されます）…… **63,000**円（税込）
- 事例検討会（会場／スポット受講／1回）…… **6,000**円（税込）

会場が定員に達した場合はスポット受講の募集を行わないことがあります。ご注意ください。

◆テーマ別コースを希望する方（まずは興味ある分野を勉強したい方におすすめ）

講義テキストをお持ちでない方は別途テキストの購入が必要です（本欄下）。子ども虐待は「基本コーステキスト」、3つの精神疾患は「上級コーステキスト」をご用意ください。

- 子ども虐待3連続講座＋事例検討会（会場／全3回）…… **34,650**円（税込）
- 子ども虐待3連続講座（オンライン／全3回） **17,325**円（税込）
- 3つの精神疾患を知る講座＋事例検討会（会場／全3回）…… **34,650**円（税込）
- 3つの精神疾患を知る講座（オンライン／全3回）…… **17,325**円（税込）

◆別途、テキストを購入する場合の料金（アマゾン／金剛出版からも購入できますが当事務局からの購入がお得です）

- HCMカウンセリングセミナー講義テキスト　基本コース第5版　(A4判318ページ)…… **3,800**円（頒価）
- HCMカウンセリングセミナー講義テキスト　上級コース第5版　(A4判262ページ)…… **3,600**円（頒価）

事例検討会を除き、各コースの受講を申し込まれた方には、アーカイブ配信を行います。

アーカイブ配信では、講義動画を後日、オンライン視聴できます。見逃しや復習に便利で、期間中は何度でも視聴可能です。配信期間はセミナー開催日の3日後（水曜日）から14日後（日曜日）までです。
視聴用URLとパスワードは、**各回の3日後**に配信するメールでご案内します。視聴方法 ☞ https://hcm-seminar.net/archive/

※印刷費その他経費の高騰のため、受講料の改訂を行いました。ご容赦頂きたく御願い申し上げます。

■ 基本コース (全 6 回・奇数月の日曜日)

会場受講
オンライン受講
これのみ受講可

■ 講義＋模擬事例演習（会場＋オンライン配信・■ 後日、アーカイブ配信あり）
10:00 -15:30（昼休憩 12:00 -13:00 / ランチョンセミナー 12:30 - 12:55）

■ 事例検討会 (会場のみ)
16:00 -18:00

1 月 17 日　第 1 回　〈見立て 8 型〉メソッドと傾聴技法

見立ての作り方とその理論、傾聴の意味と技法

私たちが支援の中で誤った対応をしてしまう原因の多くは、相談者の悩みを自分の経験に重ねてしまい、本質を見ていないことにあります。その人自身の悩みに向き合うために必要なのが「見立て」です。当セミナーでは、独自の概念を含む8つの型に見立てを分類しています。この8型が腑に落ちると、治療やケースワークが格段にスムーズになります。正しい「見立て」を身につけ、支援の質を高めていきましょう。

受講者の感想　◆これまで「相談者はこんな感じの人」と曖昧に見立てていましたが、8型を知り、しっかり見立てる方法を学ぶことができました。また、診断名を頼りに相談者と関わっていましたが、傾聴することで正しく見立てていきたいです。◆模擬事例や解説が分かりやすく、正確な見立ての重要性を実感しました。◆本人の話したことや行動から見立てをして8型に分類する、例外なしというシンプルな方法は分かりやすく、深めていけば実践で使えると思いました。

3 月 14 日　第 2 回　成人期の心的葛藤とその精神疾患

うつ病、パニック障害、AL 依存症の理解 / 成人期カウンセリングの方法

「成人期」とは、社会のルールを理解し、それに従って生きる大人――つまり私たちのことです。精神分析や心理学、カウンセリングの諸理論は、その対象としてこの「成人期」を暗黙の前提にして構築されています。しかし、この前提を意識しないまま、成人期に当てはまらない人をそう思い込み、理論通りに支援が進まず、混乱が生じます。本講義では、社会の中心を担う成人期の心理発達、成人期特有の心的葛藤とそれに基づくカウンセリング技法について詳しく解説します。

受講者の感想　◆ 成人期は自分に照らし合わせて、自身のことも振り返りました。演習事例では、面接方法を学べ、実践でも取り入れたいと思いました。◆ 成人期の発達段階について、初めて知りました。1期はまだ緊張があり、2期になると「父母性」を獲得して安定するというのが、講義と事例を通して理解できました。◆ 相談を受ける際、困難に感じていたケースも、成人期を学ぶことではっきりと理解できるようになりました。

5 月 16 日　第 3 回　思春期の心的葛藤 / 親子葛藤とその精神疾患

不登校、摂食障害、自傷行為の理解 / 親と子のカウンセリングの方法

思春期とは、学童期から成人期への「移行期」です。実は、思春期が問題化することは稀で、9割以上の子どもは大きな問題を抱えることなく成長していきます。一方、全体の数パーセントの子どもたちは、思春期に問題を抱えます。その背景には多くの場合、親の側に原因があります。親の見立ては、①「軽度」知的発達症、②成人学童期、③被虐待者「異邦人」、④成人期の 4 つのパターンで、親の見立てに応じて、どの子の不適応問題・症状も異なります。それぞれの親子の心の動きを見ていきましょう。

受講者の感想　◆思春期の問題解決法として、親を見立てるというアプローチが新鮮でした。カウンセリングの対象が明確になったことは有益でした。◆事例を通して、子は母に愛着を求め、何とか応えようと苦悩する母はカウンセリングに支えられる。癒やし、癒されていく過程に心が揺さぶられました。◆母親と子の両方の見立てが肝心であるとわかりました。母子の感情がどう動いていくのか、表面に現れている言動の背景にある心の動きを理解して関わっていきたいです。

初めて参加される方はこの基本コースからの参加をおすすめします。
基本コースは、〈見立て 8 型〉の基本理論と傾聴技法を最初に学びます。次いで人の心を理解する基準となる「成人期」、心理発達上最大の移行期である「思春期」、そして数が多く、且つ誤解が多く困難事例化しやすい「軽度」知的発達症を学んで、初めて被虐待者「異邦人」の心の理解が可能になります。 基本コースは会場、オンラインによって次のように構成されています。

- **講義＋模擬事例演習 (10:00〜15:30)**：会場＋オンライン配信
  ＊12:30〜12:55 は**ランチョンセミナー**を実施します。(任意参加・2026 年からオンライン配信) ☞ P8
- **アーカイブ配信：セミナー開催日の 3 日後（水曜日）から 14 日後（日曜日）**：講義＋模擬事例演習は見逃された方や復習したい方のために、オンライン配信された講義動画のアーカイブ配信をします。☞ P3
- **事例検討会（16:00〜18:00）**：会場受講の方は、事例検討会とセット受講になっています（オンライン配信なし）。事例検討会のみの受講も可能です。☞ P8

「子ども虐待を理解する3連続講座」と合同

7 月 11 日

第 4 回 「軽度」知的発達症と子ども虐待
その特性（共感不全）/ 環境調整 / 子ども虐待との関連性と介入方法

当セミナーでは「軽度」知的発達症（以下、「軽度」MR）を、軽度知的発達症・境界知能・限局性学習症・注意欠如多動症を含む広い概念として捉えます。支援現場で困難事例となるのは、この「軽度」MRの領域です。「軽度」MRのある方は対人関係の理解が未熟で、相手の心理を推測することが難しく、トラブルが生じやすくなります。母親に「軽度」MRがある場合は、子ども虐待の要因にもなります。本講では、この「対人関係の理解の未熟さ」と虐待との関係を詳しく取り上げます。

受講者の感想

◆IQでは測れない社会性の未熟さを、言動を通していかに察知するかの重要性を実感しました。◆MRかどうか迷う時は、子への共感能力の有無を鑑別する観点でアセスメントすることの大切さを知りました。◆これまで、「良い」と思い込んでいた支援に対して、改めて考え直すきっかけとなる講義でした。◆MRの方はなかなか改善せず、他責でクレーム化しやすいですが、学んだ通りの対応で関係を作ることができ、子ども本人への働きかけがしやすくなりました。

9 月 19 日

第 5 回 被虐待者「異邦人」と愛着障害
解離性障害、複雑性 PTSD、過剰適応の心理 / そのカウンセリング方法

被虐待者「異邦人」は、当セミナーの中心となる概念です。「軽度」知的発達症の母親に育てられ、母子間の愛着関係を築けないまま成長した人を指します。「軽度」MRの母親には愛着を形成する力がないため、子は愛着が「ない」状態で育ちます。彼らは心の奥底で愛着を求めながらも、得られないと断念し、孤立したまま様々な生きづらさを抱えています。本講では、「異邦人」が抱える身体・精神疾患と、その背景にある心理（愛着障害）について詳しく解説します。

受講者の感想

◆体系的に学ぶことができ、異邦人に共通する緊張や苦しみ、孤独を感じることができました。その苦しみの深さを知り、いかに異邦人が頑張って生きてきたかを思い知らされました。◆愛着の否認について、自己愛とは何か、異邦人がなぜ幸せな状況になりそうなところから逃げてしまうのかについて理解が深まりました。◆心理学の進んできた流れ、特にハーマンやコフートの内容なども説明しながら、異邦人についての解説があり、とても興味深い内容でした。

11 月 28 日

第 6 回 大人の愛着障害 / 応用模擬事例演習
3 つのレベルの愛着障害、生涯発達における愛着理論

基本コースのまとめとして、5ステージ傾聴技法（黙って聴く、賛成して聴く、感情を聴く、葛藤を聴く、理解を伝える）と、心の成長の3段階と6つの感情（不安、抑うつ、怒り、恐怖、悲しみ、喜び）の流れについて、事例を通してみていきます。さらに2025年より、本講の中で高橋先生が著書『大人の愛着障害』をもとに、大人の愛着障害の3つの重症度と、それに伴う人生の制限について解説します。愛着の理解を深め、支援の視点を広げる学びを一緒に進めていきましょう。

受講者の感想

◆事例演習では、クライアントの言動をB軸→A軸→C軸基準に沿って見立てていく、その裏付けの解説が大変勉強になりました。いきなり支援せず、間違ってもいいからまず見立てを作る！これを実行していきたいと思います。◆長いカウンセリングを経て、人が変化する様子に感動しました。正しい見立て、正しい関わり方が大事だと思いました。◆鍵となる言葉や感情を丁寧に説明・解説いただき、とても分かりやすかったです。事例で彼の心が広がり生まれ変わっていく様は、涙ながらに学ばせていただきました。

■ 上級コース (全６回・偶数月の日曜日)

会場受講
オンライン受講
← これのみ受講可 →

■ 講義＋模擬事例詳解（会場＋オンライン配信・■ 後日、アーカイブ配信あり）
10:00 -15:30（昼休憩 12:00 -13:00 / ランチョンセミナー 12:30 - 12:55）

■ 事例検討会 (会場のみ)
16:00 -18:00

2 月 21 日　第 1 回　〈見立て 8 型〉の展開と葛藤崩壊療法

〈見立て 8 型〉の全体 / 葛藤崩壊療法の 3 期と 5 ステージ傾聴技法

①<見立て8型>と② 5 ステージ傾聴技法<葛藤崩壊療法>は、当セミナーの二本柱です。この回、①では、基本コースで学んだ理論をさらに拡げ、家族コンステレーション（家族員の見立ての配置）という見立ての技法を学びます。また葛藤崩壊療法の考え方の基本は、カウンセラーが①正確な見立てを作り、②傾聴すれば、クライアントは自分の力で「悩み」を解決していく、というものです。人が葛藤にどう向き合い、どのようにして悩みを解決していくのか、そのプロセスを丁寧に学んでいきましょう。

受講者の感想
◆実際のカウンセリングに役立つ技法・ステップ毎の注意点等盛りだくさんの内容で非常に勉強になりました。◆葛藤崩壊療法の具体的な事例を聞き、こんなにエネルギーが必要で、苦しいものかとイメージできました。◆事例演習は特にためになります。正しく見立てるには、８型のすべての分類についてしっかり学ぶ必要があると思いました。情報を集めて見立てを立てる難しさはありますが、何よりも、今まで持てなかった指針をもって聴けるというのは非常に大きな違いになります。◆事例の中で、葛藤崩壊療法の凄さと、傾聴だけでもドンドン進んでいった経過に驚きました。

4 月 11 日　第 2 回　学童期と「成人学童期」の心的葛藤と精神疾患

身体化症状・拒食症・不登校 /「成人学童期」の母を持つ子の問題

成人学童期とは、思春期葛藤（親子葛藤）を越えられずに「学童期」の心性にとどまったまま大人になった人です。彼らは、成人の心理発達である「自己責任」と「父母性」を獲得していません。外見は大人ですが、心理的な対人理解・社会理解は「小学生のまま」です。本講義では、成人学童期の母親の子育てや子どもに起きる問題についても詳しく説明します。この概念を理解すると、＜こじれた思春期＞が見えてくるようになります。

受講者の感想
◆「成人学童期」という概念が加わったことで見立てが豊かになりそうです。◆考え方が浅く、自信たっぷりで、子育てや生き方に葛藤がないので、逆にこちらが揺らぎますが、そういう方は成人学童期だったとわかりました。◆成人学童期の演習事例は事実の羅列が多く、心情の吐露が乏しいためか、聞いていて「つまらない」印象です。これが成人学童期の特徴のひとつかと納得しました。◆成人学童期の場合、知能は正常のため一見まともな成人期に見えてしまうのですが、先生のいう「感情を聴く」ことでその違いを見分けられることを実感しました。

「現場で重要な３つの精神疾患」と合同

6 月 13 日　第 3 回　統合失調症と統合失調型症

遺伝子と多因子疾患 / 急性期・慢性期の症状、心理、その治療と支援

本講義では、統合失調症と遺伝との関係について詳解しながら、精神医学的な視点を学びます。統合失調症は脳機能障害です。急性期・慢性期の症状と疾病の経過について理解を深め、治療のポイントを押さえていきましょう。さらに、家族支援にも触れますが、ここでも「家族の見立て」が重要です。統合失調症の親族の有病率は約10％です。統合失調症の本人の母親に統合失調症、もしくは統合失調型症がある場合、母親として責任ある行動を取れません。家族も含めた見立てを学んでいきましょう。

受講者の感想
◆急性期と慢性期の違いと、一見似たように見える統合失調症慢性期、「軽度」知的発達症、被虐待者との違いを知ることができ、とても参考になりました。◆統合失調症の方にカウンセリングは役立つのか疑問がありましたが、「カウンセリングは統合失調症の症状には効かないが、聞いてもらうことでこの症状を抱えて生きていくサポートになる」と学び、実践での心構えができました。◆患者の家族と関わる中で、家族に違和感を持つ経験が多かったので、この講義で、家族の見立ての必要性を感じました。

基本コースを終えられた方はこのコースにお進みください。カウンセリング・精神医学の知識を持っている方は最初から参加することも可能です。上級コースは、基本コースで学んだ〈見立て 8 型〉の基礎理論を愛着視点からさらに深め、学童期・「成人学童期」という心理発達段階と重要な精神疾患群の 3 つを加えて、〈見立て 8 型〉を完成させます。
また「成人学童期」は、被虐待者「異邦人」と並んで当セミナー独特の概念です。上級コースは次のように構成されています。

- **講義＋模擬事例詳解 (10:00〜15:30)**：会場＋オンライン配信
  ＊12:30〜12:55 は**ランチョンセミナー**を実施します。（任意参加・2026 年からオンライン配信） ☞ P8
- **アーカイブ配信：セミナー開催日の 3 日後（水曜日）から 14 日後（日曜日）**：講義＋模擬事例演習は見逃された方や復習したい方のために、オンライン配信された講義動画のアーカイブ配信をします。☞ P3
- **事例検討会（16:00〜18:00）**：会場受講の方は、事例検討会とセット受講になっています（オンライン配信なし）。事例検討会のみの受講も可能です。☞ P8

「現場で重要な3つの精神疾患を知る講座」と合同

8 月 22 日　第 4 回　神経発達症群・自閉スペクトラム症（ASD）

神経発達症群の全体 / 事例から理解する ASD 特性 / 誤診されやすい疾患

自閉スペクトラム症（ASD）は、神経発達症の中でも異質な「社会・対人理解」「対人交流の仕方」を示します。「軽度」知的発達症、限局性学習症、注意欠如多動症の3つの神経発達症では、対人関係の理解の幼さが不適応の原因です。一方ASDは、「異質の対人理解」のために不適応を起こします。本講では、両者を比較しながらASDの症状を解説します。またASDは、被虐待者「異邦人」が誤診されやすい診断です。ASDと誤診された自分史の著書2冊から、誤診が起こる過程を解説します。

受講者の感想　◆支援者の十分な理解があって初めて、発達障害の方々の支援（環境調整）がうまくいくと感じました。◆ASDと軽度知的発達症の関係性や違いがあいまいでしたが、全体像をつかむことができました。◆ASDに見える被虐待者がいる一方で、一見ASDには見えないが、実際にはASDであった事例もわかり、改めて見立ての大事さを感じました。◆実際に会ったASDの方に違和感を覚えることがあり、実はASD診断に誤診が多いということを聞けて良かったです。

10 月 17 日　第 5 回　認知症・高次脳機能障害

脳の構造 / 発症と能力低下による「喪失体験」/ 家族の心理と介護問題

認知症と高次脳機能障害は、一度獲得された心理機能や知的機能が、脳の器質的な障害（病気・外傷など）で後天的に低下する点が共通しています。本講では脳の構造と機能を解説し、どの部位が障害されるとどんな症状が出るかを学び、両者の精神医学的理解を深めます。経過と症状、心理状況を理解すると、支援の方法が見えてきます。また、認知症の親にうまく対処できる家族と「混乱している」家族の違いはどこにあるのでしょうか。事例を通して、家族の「見立て」にも着目します。

受講者の感想　◆介護する家族が成人期なのか、成人学童期なのかMRなのか…といった視点でアセスメントし、支援の方針を考えるということを学びました。この視点を獲得することで、より相談者の立場に立った支援ができたらいいな、と思いました。◆脳の構造のお話、とても分かりやすく、興味を持ちました。認知症になる前の見立て（健常だったのか、統合失調症や知的障害だったのか、など）をしないと、間違った支援に労力ばかりかけてしまうと感じました。

12 月 12 日　第 6 回　(1) パーソナリティ症と共依存を見立て直す　(2) 心理検査と見立て、そして治療経過へ（特講：粒良知加先生）

「パーソナリティ症は、『ない』？」――本講義では、DSM-5-TRに記載されている10種類のパーソナリティ症を取り上げ、その診断方法と問題点に言及しながら、「見立て直し」を行います。これらを歴史的背景から紐解き、DSM-5-TR、ICD-11に至る改訂内容にも言及し、なぜ〈見立て8型〉にパーソナリティ症が入っていないかが解き明かされます。また、この回は粒良知加先生(Arc心理オフィス主宰、臨床心理士/公認心理師、http://arc-psychological.net）を特別講師として招き、代表的な心理検査と〈見立て8型〉との関連性、カウンセリング上の意義等、実際の事例を通して解説して頂きます。

受講者の感想　◆パーソナリティ症が、いかにあいまいなものかがよく分かりました。同時に、見立て8型がとてもクリアでわかりやすいものだと再認識しました。◆パーソナリティ症は、わかったようなわからないような感じでしたが、高橋先生のパーソナリティ症は「反社会性パーソナリティ症」だけで、私たちの周囲に現れることはそうそうないと言われた言葉がストンと腑に落ちました。◆この1年で、これまでのモヤモヤが晴れ、ケースワークがとてもスムーズになりました。

事例検討会

参加者から提出された現在進行形の事例を検討します（守秘義務厳守）

事例検討会 (会場のみ) 16:00-18:00

全 12 回
毎月日曜日

GSV(グループスーパービジョン)

毎月の本コース（基本コース・上級コース）の終了後に実施します。本コースから引き続いて参加される方と、事例検討会から合流する方がいます。
参加者から提示された事例をその場で分析していきます。２時間で１～2 事例を行います。

受講者の感想

◆面接の発言から、クライアントの知的能力を推測する方法や、本人の心情を理解する方法を改めて確認することができました。◆深刻な事例を淡々とひも解いていく解説が印象的でした。カウンセラーとしての視点や姿勢を学ぶことができました。言葉以上に、人の理解の深さを感じる時間でした。

テーマ別コース　講義・演習内容

子ども虐待を理解する３連続講座・現場で重要な３つの精神疾患を知る講座

子ども虐待を理解する３連続講座

10:00 -12:00 / 13:00 -15:30
ランチョンセミナー（12:30 -12:55 ）

後日、アーカイブ配信あり

5 月 30 日	1. 何故、虐待が起こるのか？　虐待する親の特性 < このテーマ別コースのための特別開催回です >
7 月 11 日	2.「軽度」知的発達症と子ども虐待 < 基本コース第 4 回と合同開催。会場受講の場合は、事例検討会が続きます >
9 月 19 日	3. 被虐待者「異邦人」と愛着障害 < 基本コース第 5 回と合同開催、会場受講の場合は、事例検討会が続きます >

第 1 回は、テーマを深めるため，本コースを補足する特別回です。会場では、引き続き事例検討会を行います。（＊通年の事例検討会には含まれません）

現場で重要な３つの精神疾患を知る講座

10:00 -12:00 / 13:00 -15:30
ランチョンセミナー（12:30 -12:55 ）

後日、アーカイブ配信あり

6 月 13 日	1. 統合失調症と統合失調型症 < 上級コース第 3 回と合同開催、会場受講の場合は、事例検討会が続きます >
8 月 22 日	2. 神経発達症群・自閉スペクトラム症（ASD） < 上級コース第 4 回と合同開催、会場受講の場合は、事例検討会が続きます >
10 月 17 日	3. 認知症・高次脳機能障害 < 上級コース第 5 回と合同開催、会場受講の場合は、事例検討会が続きます >

ランチョンセミナー　基本コース・上級コース・テーマ別コース　各回　12:30～12:55

ランチョンセミナーとは、昼休みを利用してランチを取りながら参加できる小セミナーです。当日の講義や演習事例に関連するテーマやトピックを取り上げ、〈見立て 8 型〉でそれらを深掘りします。（オンライン、アーカイブ動画で配信実施。）

2026 実施テーマ例：**被虐ママのコンステレーション詳解、問題化する思春期、連続 100 例の分析、統合失調症に誤診される外傷性障害ー中井久夫の外傷性障害概念レビュー、被虐待者の介護うつ病、「ケーキの切れない非行少年たち」ブックレビュー、ギフテッド試論ーgifted を〈8 型〉で見立て直す、**など。2027 年も様々なトピックを取り上げます。

支援者が力量を伸ばすためには、知識や技能だけでなく、支援関係の振り返りと気付きによる自己体験が必要です。
事例検討会は、目の前のクライアントとの間で起こっていることを解明し、この自己体験を受講者が共有する場となります。
またテーマ別コースは、本コースを補足する特別講座と本コースの合同で構成されています。

■ クライアントの見立て、家族コンステレーション、見逃している葛藤、解決像と今後の方針

〈見立て 8 型〉〈5 ステージ傾聴技法〉〈葛藤崩壊療法〉

事例の提示方法は別途詳しくご案内しますが、あらかじめプリントを用意する方法とその場で口頭で提示する方法があります。1 事例を 1 時間程度で行います。提示された事例を＜見立て 8 型＞と＜5 ステージ傾聴技法＞で詳しく分析して、①クライアントの見立てを作ります。ついで②家族それぞれの見立て、さらに③家族のコンステレーションを検討します。これらの見立てが出来上がったら前半は終了です。見立てが確定するまで非常にダイナミックなやりとりが行われます。後半では今後の治療・ケースワークの方針を立てることになります。そのために、カウンセリングの場合はカウンセラーが見逃している「隠れた葛藤」がないかどうかを検討します。ケースワークの場合は、クライアントの周りで一番困っている人（クライアントを心配している人）が誰かを分析します。これらをふまえて今後の具体的な治療・支援方針を立てていくことになります。

■ 子ども虐待の真の原因は？ 「虐待の世代間連鎖」のように見えるものの正体は？愛着の傷とは？

虐待の原因 / 虐待する母親の特性 /「虐待の世代間連鎖説」研究レビュー / 被虐待の心の傷 (C-PTSD) の回復過程

なぜ虐待が起こるのか、「普通の家庭」では決して虐待は起きません 虐待研究の中ではこれまで虐待する親の分析はあまり行われてきませんでした。子ども虐待をする母親の特性を厚生労働省のデータ（『子ども虐待による死亡事例等の検証結果等について』）の分析から明らかにします。母性が「普通に」機能している家庭では決して虐待は起こりません。なぜなら母親が子の苦しみや痛みを我がことのように感じてしまうと虐待のようなことは決してできないからです。

虐待の世代間連鎖説について検討します 「虐待をされて育った人は親になってから自分の子を虐待する」という虐待の世代間連鎖説は今でも広く信じられています。しかし、本当でしょうか？セミナーでは児童虐待問題が広く社会に認識されるようになった 1962 年の Kempe の論文以降の虐待研究をレビューして最新の愛着研究の知見を報告します。虐待は連鎖しないという結論が出てきています。しかし一見連鎖のように見えるものがあります。それは何でしょうか。

虐待を受けた心の傷（複雑性 PTSD/ 解離性障害 / 反復性うつ病 / 燃え尽き症候群など）は適切な治療で回復します 被虐待者の心の傷とは「愛着」を否定された傷です。子が母親に近づきたい気持ちが愛着で、生まれつきの根本的な欲求です。虐待を受けると子はこの欲求を頭から否定されてしまいます。その結果、子は自分は生まれてくる価値がなかったと自分を責めて、自己否定が生涯を通じての大きな傷になります。しかし、自分が受けてきた虐待の傷を知り、その原因となった家族関係を理解すると心の傷は回復します。子育てをしている女性の回復事例（産後うつ）からその回復のプロセスを学習します。

■ 精神疾患の正確な理解を持って現場での支援に役立てましょう

現場で重要な３つの精神疾患：統合失調症 / 神経発達症群・自閉スペクトラム症 / アルツハイマー型認知症を学び直す

デイケア・作業所・就労支援・介護などの現場で最も大切な３つの精神疾患をもう一度学び直します。専門学校や大学で学んだ知識を、現場を知った目からもう一度振り返ると全く違った側面が見えてくるはずです。

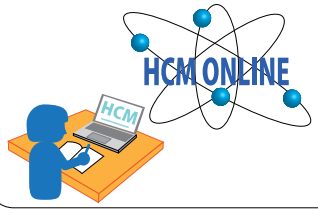
統合失調症・統合失調型症 統合失調症にはまったく異なる２つの症状があります。急性期の陽性症状（幻覚妄想状態）と慢性期の陰性症状です。前者は激しい精神的興奮を伴う発症時の主要な症状ですが、服薬で落ち着きます。一方、後者は社会適応レベルを低下させる慢性的な症状です。これには薬はあまり効きません。クライアントは現時点では、どちらの症状が中心なのか、２つの症状をしっかりと区別して支援することが大切です。

神経発達症群・自閉スペクトラム症 神経発達症群は４つに分類されています。① 知的発達症、② 限局性学習症、③ 注意欠如多動症、④ 自閉スペクトラム症です。①～③の症状は互いに連続性があり、社会・人間理解が同年代に比較して未熟です。一方、④ 自閉スペクトラム症は全く異なる異質な人間理解をしています。両者を区別しないで、同じ方針で支援すると自閉スペクトラム症の人は追い詰められてしまいます。違いを理解して支援方法を再検討していきましょう。

アルツハイマー型認知症 ３大認知症のうち、① アルツハイマー型認知症は記憶障害（物忘れ）から始まり、その進行はゆっくりです。② レビー小体型認知症は睡眠障害や歩行障害などから始まります。③ 脳血管性認知症は脳出血・梗塞などの突然の出来事から始まり身体の麻痺を伴います。３疾患に共通なことは、以前の正常な社会的な機能を失ってしまうことです。その無念さや不安が認知症の問題行動の背景にあります。そこを理解すると支援方法が変わります。

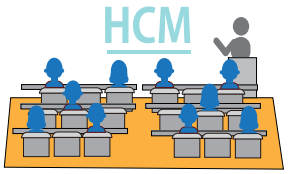
御茶ノ水会場・自宅でオンラインの２つの受講方法

ハイブリッド方式（会場＋オンライン）＋**アーカイブ配信**（オンライン講義動画の配信）



オンライン配信
（ご自宅で）

Zoomを用いてパソコン、スマホで簡単に接続できます。



会場での開催
（東京・御茶ノ水）

セミナー終了後は、引き続き事例検討会を行います。

本コース、テーマ別コースは❶御茶ノ水会場、❷ご自宅でオンライン (Zoom) での２つから受講方法を選べます。
会場受講の場合は、講義＋事例演習 (10:00-15:30) と事例検討会 (16:00-18:00) がセットになります。
「事例検討会のみ」参加も可能です。会場で「講義のみ」受講の場合は、終日と同じ参加費となります。
守秘義務を厳重に管理するため、事例検討会のオンライン配信、アーカイブ配信はありません。



■**ランチョンセミナー**：講義に関連するトピックを取り上げます ☞ P8

❸**アーカイブ配信** オンライン配信した講義動画をアーカイブ配信します。配信期間はセミナー開催日の３日後（水曜日）から 14 日後（日曜日）です。視聴に必要な URL とパスワードは、**セミナー３日後**に配信するメールでお知らせします。
ホームページ　https://hcm-seminar.net/archive/ に視聴方法をご案内しています。

申込方法

ステップ１：メンバー登録

■ HCM カウンセリングセミナーに参加するためには、**メンバー登録**が必要です。HCM のホームページ（下記の**QR コード**）から登録ができます。登録の際に参加資格を確認させていただきます。

■ **参加資格**
カウンセリング、ケースワーク、医療、保健、福祉、介護、教育、他の相談業務などに関わる有資格の専門職の方。
１．医師・保健師・看護師・公認心理師・臨床心理士・精神保健福祉士・社会福祉士・介護福祉士・産業カウンセラー等、専門資格（公的資格、民間資格を問いません）をお持ちで、守秘義務を十分に理解する方。
２．上記の資格以外の方や医学系・心理系・福祉系などの専門学校、大学の学生の場合は事務局で個別の許可を得てください。守秘義務についての説明をさせていただきます。
■ **受講 ID**：メンバー登録が終わると受講 ID が発行されます。HCM が主催するセミナーの参加に必要な ID です。（受講 ID＝４桁の数字＋名前（姓）、例：9123 神田）

ステップ２：セミナー参加申込

HCM ホームページ　https://hcm-seminar.net

■ **申込受付開始：2026 年 12 月 6 日（日）** ホームページで各コースの受付を開始します。
（※スポット参加は開催日の１カ月前から受付開始します）
支払期限、キャンセルの扱い、セミナー中止時の返金等につきましては、ホームページのキャンセルポリシー（https://hcm-seminar.net/cancelpolicy2027/）をご参照ください。

セミナーでお会いしましょう

講師紹介 / セミナー受講者のプロフィール

■高橋 和巳

■ 精神科医　医学博士　1953 年生まれ
■ 風の木クリニック院長（千代田区・隼町） https://www.kazenoki.jp/

慶應義塾大学文学部を中退、福島県立医科大学を卒業後、東京医科歯科大学にて睡眠脳波・大脳生理学・脳機能マッピング等の脳科学研究を行った。長く都立松沢病院に勤めて統合失調症などの精神科一般の診療の他、精神科救急やアルコール専門外来、家庭内暴力・拒食症・引きこもり等の家族問題に関わってきた。同院精神科医長を退職後は 2004 年に風の木クリニックを開業し診療を続けている。カウンセラーの教育のために当「HCM カウンセリングセミナー」の講師を続け、子ども虐待問題の理解のためにさまざまな研修や事例検討を行っている。
著書に『大人の愛着障害』、『親は選べないが人生は選べる』、『精神科医が教える聴く技術』　「母と子」という病』（ちくま新書）、『消えたい』、『子は親を救うために「心の病」になる』、『人は変われる』（ちくま文庫）、『新しく生きる』（三五館）、『私は悪い子？』（学習研究社）など多数がある。

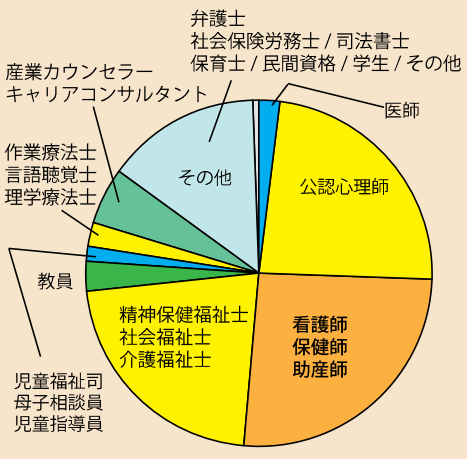
■野口 洋一

■ 公認心理師　精神保健福祉士　1961 年生まれ
■ あさくさばしファミリーカウンセリングルーム室長（台東区・浅草橋） https://www.asakusabashi.net/

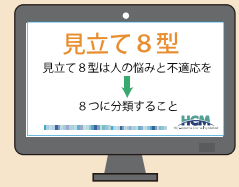
早稲田大学、明治学院大学卒業。心理学、精神保健学、ソーシャルワーク等を学ぶ。精神科医療機関に PSW として勤務し（依存症病棟・外来）、主に嗜癖関連問題、家族関係問題に取り組む。その後は 1998 年 4 月にあさくさばしファミリーカウンセリングルームを開設し、現在に至る。上記の他、引きこもりや摂食障害など思春期問題、うつや育児不安など大人のメンタルヘルス、虐待被害など心的外傷問題に至る幅広い分野でカウンセリングやスーパービジョンを行っている。プライベートプラクティスの他、都立精神保健福祉センター助言者（嗜癖関連問題、思春期問題助言者）、杉並区、豊島区、練馬区など各区保健センター、子ども家庭支援センター助言車（虐待困難事例）、その他、多数の研修会講師を務める。社会福祉法人ぱれっと理事長。著書に『家族の心理　変わる家族の新しいかたち』（金剛出版）がある（分担執筆。）

■ メンバー登録者のプロフィール

当セミナーに会員登録をされた方々のプロフィール (資格と所属機関) を紹介します (2026 年 9 月現在、1542 名登録)。



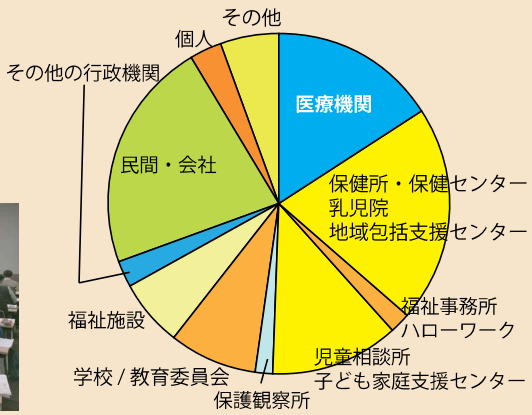
〈参加者の資格〉



オンライン配信・ご自宅で



御茶ノ水・ソラシティ 会場　RoomB



〈参加者の所属機関〉

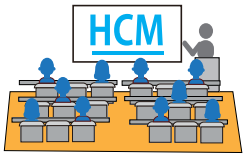
■ **現場別の講義の選び方ヒント**　（本コースを受けるのが理想ですが、忙しい方のために、以下のような組み合わせをおすすめします）
◆カウンセリング技法（葛藤崩壊療法）をまず学びたい：基本 1+基本 2+上級 1　◆高齢者虐待の現場にいる：基本 1+基本 4 +上級 5　◆児童虐待の現場にいる：「子ども虐待の 3 連続講座」　◆教育現場で不登校問題をかかえている：基本 2+基本 3+基本 5　◆作業所・デイケア・就労支援で仕事をしている「現場で重要な 3 疾患」のうち必要なもの+基本 5　◆保護観察所 / 社会復帰調整官の仕事をしている：基本 4+基本 5+上級 3　◆産業保健分野・EAP：基本 1+基本 2+基本 5（+上級 2）

〈見立て８型〉によるカウンセリングと精神医学

HCM カウンセリングセミナー 2027 全コースご案内





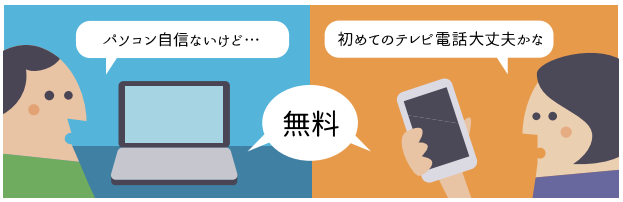


Zoom アプリによるリアルタイム配信

ご自宅のパソコン、スマホ、タブレットで

かんたんオンライン受講

1. あらかじめ端末にZoomアプリをインストール



2. セミナー3日前に事務局からZoom視聴用URLのメールが届く



3. セミナー当日、URLにアクセスして視聴開始！

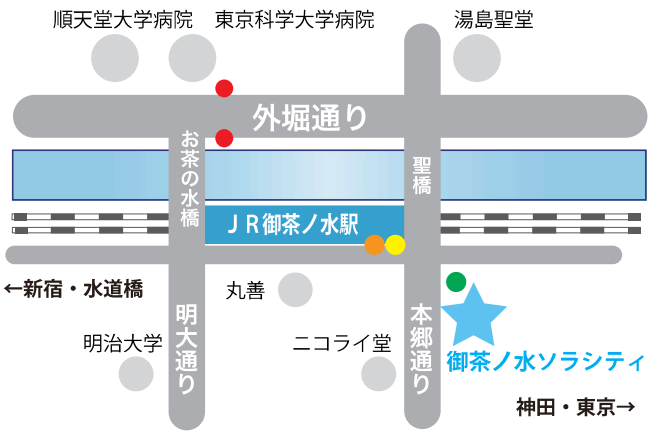


会場開催　東京・御茶ノ水ソラシティ 1 階 Room B

御茶ノ水ソラシティ

03-6206-4855

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 4-6



●●JR 御茶ノ水駅 聖橋口　1 分
ＪＲ総武・中央線

●地下鉄千代田線 新御茶ノ水駅
B2 出口 2 分

● 地下鉄丸の内線 御茶ノ水駅
1・2 番出口 4 分



アーカイブ配信　見逃し・復習のため何度でも視聴可能

1. 配信期間：
   セミナー開催日の 3 日後（水曜日）〜14 日後（日曜日）まで
2. 視聴方法：
   指定の URL に接続し、パスワードとメールアドレスを入力
3. 指定の URL とパスワード：
   セミナー開催日の 3 日後に配信するメールでお伝えします

HCM
High-expertise Counseling Method

専門家のためのカウンセリングセミナー

■一般社団法人 HCM カウンセリングセミナー事務局（あさくさばしファミリーカウンセリングルーム内）
〒111-0053 東京都台東区浅草橋 1-3-15 リバーサイド浅草橋 803
tel 03-5809-2589　/ e-mail : info@hcm-seminar.net　（お問い合わせはメールにてお願い致します）